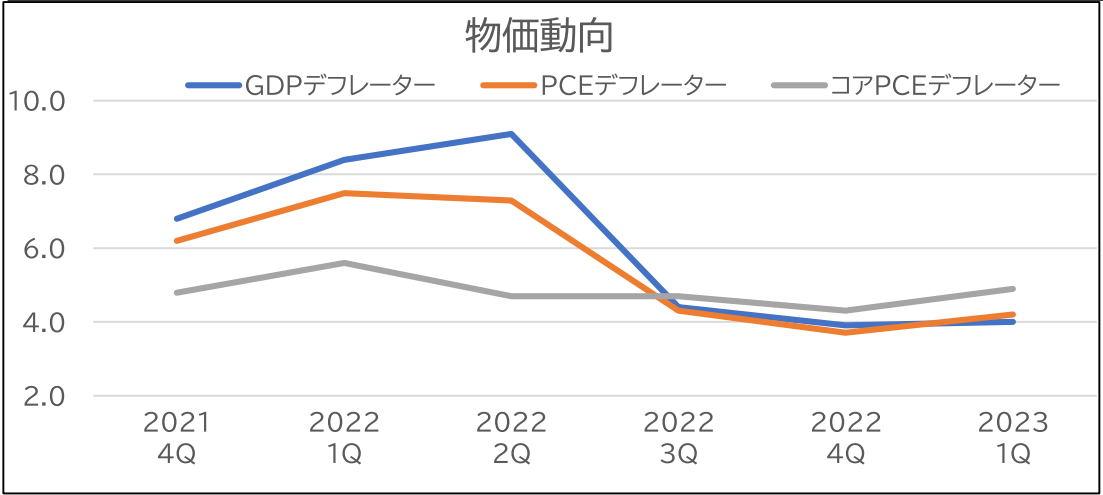
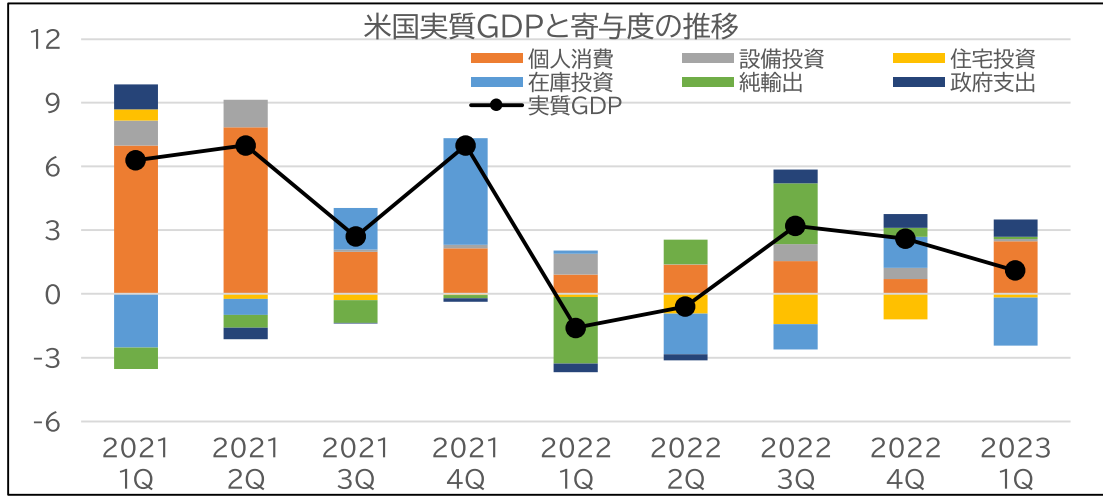


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾  
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳  
米国経済・1-3月期 実質国内総生産(GDP)

2023/05/1 第7号  
朝日田コーポレーション  
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp  
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)米国商務省資料より作成。  
米国1-3月期の実質GDPは、前期比年率+1.1%と3四半期連続でプラス成長となったが、2022年10-12月期(+2.6%)からは減速した。内訳をみると、民間在庫投資が成長率を押し下げる一方、米国経済の屋台骨である個人消費は2021年4-6月期以来の上昇率となっており、米国経済の底堅さを示しているといえる。一方、堅調な消費を背景に、低下傾向を示していた物価関連指標は再度上昇に転じた。当面の米国経済は、堅調な消費が米経済を支えよう。但し、インフレ率が高水準で推移し中央銀行による引き締めが続く見込まれるなか、直近の金融不安が实体经济に与える影響を注視する必要がある。